

# 十七字の作品で振り返る復興10年

福島県教育委員会

平成14年度に始まった「十七字のふれあい」は「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」へと変化をとげ、これまでに644、245組の作品の応募がありました。震災の年も作品を募集しました。震災後10年間を作品で振り返ります。子どもと大人、子どもと子どもの心のふれあいの温かさは、今も当時から変わりません。

平成23年度

塩むすび  
被災地で 心にしみる 塩むすび(父)

平成23年度

さつ草で 先が見えない 常盤線(子)  
草の丈 過ぎし日々を ものがたり(母)

平成24年度

はあちゃんのおみじやまです 野菜たち(曾孫)  
笑顔出る ひ孫と一緒にの 土いじり(曾祖母)

平成25年度

高張の 重みが語る 区の伝統(子)  
祭りの夜 高張持つ手の たくま(母)

平成26年度

祖父あげる ロケット花火に 大歓声(子)  
帰省して 我が家に笑顔と 花火咲く(父)

平成27年度

野馬追いに 小高の思い出 よみがえる(子)  
法螺貝に 音色我が子と 懐かしむ(母)

平成28年度

五年ぶり 名前呼ばれて てれ笑い(子)  
ふん里の 見覚えある顔 ほつとめる(母)

平成28年度

五年たち 母の背だけ「追いついて」(子)  
五年たち ふきもみょうがも 食卓へ(母)

平成29年度

仮設跡 父と練習 再開へ(子)  
公園の 仮設跡から 笑い声(母)

平成30年度

さびしな なさのおばちゃん 帰ってへ(子)  
復興と 言いの別れも さみしく(母)

平成30年度

はじめてね そつまのつみで あそんだよ(子)  
我が子に ようやく教えた 塩の味(父)

令和元年度

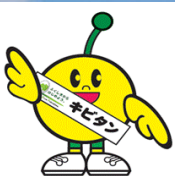
キックオフ Jウィレッジ 再始動(子)  
待ちわびた 我が子が駆ける 初ヒッチ(母)

令和元年度

夜ノ森の 桜トンネル きれいだな(子)  
我が母校 娘に思い出 語る母(母)

令和2年度

浜通り 新たな産業 期待して(母)  
未来への ふくしまっぴな ロボットよ(子)



【お問い合わせ先】  
福島県教育庁社会教育課  
電話024-521-7799

ホームページに平成14年度からの作品が  
掲載されています！ぜひご覧ください！

